

教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方をはたらかせ、見通しを持って観察、実験を行うなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり身に付ける。

(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。

(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学年の目標

第1分野：物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。

第2分野：生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。

評価の観点

月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5	生命の連続性	生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
6 7	化学変化とイオン	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
9 10 11	運動とエネルギー	物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
12 1	宇宙を観る	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2 3	自然と人間	日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、自然環境の保全と科学技術の利用を理解するとともに、自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。	自然と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法		定期テスト、課題プリントなど	定期テスト、授業の様子、課題プリントなど	ノート、プリントなどの提出物、授業の様子、定期テスト

学習の進め方

・ 自然の様々な事物や現象について、実験や観察などを通して追究し、規則性や法則性を探し求める力やそれを活用する力を伸ばすことを意識して学習を進めていきましょう。また、そのような力を伸ばすために自然の事物や現象についての理解や実験・観察等の技能を身につけていきましょう。

・ 授業で使用したプリント、ノート等を用いて家庭学習で復習を中心とした学習を行いましょう。単元ごとの振り返りを基に、得意分野の向上と苦手分野の克服をより意識して、ワーク等に取り組みましょう。